

概算数量設計特記仕様書

1 本特記仕様書は、麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業 建設発生土受入管理業務委託（以下「本工事」という。）の設計数量のうち、概算数量設計（以下「概数」という。）による設計数量の確定について、必要な事項を定めるものである。尚、業務委託の場合は、本文中の「工事」を「業務委託」と読み替えるものとする。

2 本工事において、概数で積算したものは「概数として扱う数量一覧」（6項参照）に示すものとし、概数の確定は事項に記した施工計画図書において設計数量として確定するものとする。

3 受注者は、監督員と現場立会いを行った後、監督員が提示した資料に基づき、現場調査を行い、施工計画図書（平面図、標準断面図、数量計算書及び施工計画書等、監督員が指示したもの）を作成し、概数として扱っている事項の数量について、監督員と協議するものとする。

4 受注者は、施工計画図書を監督員に提出し、設計数量の確定について承認を受けるものとし、その設計数量に基づき施工・出来形の管理を行うものとする。ただし、本工事着手前に確定数量算出に係る不確定部分がある場合は、不確定部分の一部又は全部が解消した時点で確定するものとする。

5 施工計画図書作成に要する費用は、共通仮設費の率分の準備費と技術管理費（現場調査、測量等に要する費用）を充当しているため、別途積上げはしないものとする。

6 「概数として扱う数量一覧」に示した数量は概数であり、全部又は一部が確定した時点で、必要に応じて設計変更するものとする。

なお、設計に対して過大な出来形数量に変更するものではないことに留意すること。

「概数として扱う数量一覧」

項 目（工 種）	数 量
整地工	設計積算書（単価抜き）の下位内訳書の摘要欄に「概数」と記して示した数量

※項目（工種）覧に記載無き場合は、全工種に示した数量を概数として扱うものとする。

7 本工事においては、設計変更図書の作成（設計変更図書の作成及び工事数量の算出）を受注者に行わせることがある。

8 受注者は、本工事に関して疑義が生じた場合は、その都度、監督員と協議するものとする。